

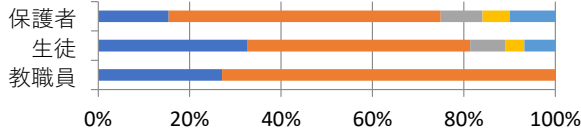
# 令和5年度 学校評価

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ わからない

## ①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

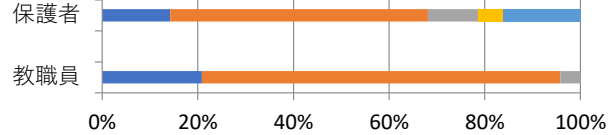
### 1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



### 2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

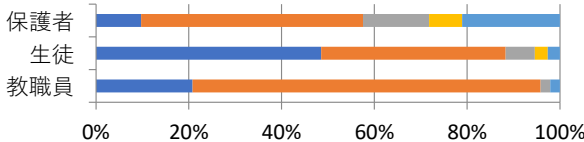


大切にされていると肯定的に感じている生徒の割合が**82%**で、**前年度より11ポイント↑**している。教職員も全員大切にしていると評価している。しかし、生徒や保護者の中には、そう感じていない人もいます。一人一人の思いを大切にしたい教育活動を展開したい。道徳・心の教育の充実については、「わからない」と回答している保護者が16%いるため、日頃から校内で行っている心の充実に因るための**取組の周知や、生徒を中心に据えた保護者との対話**が求められている。

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

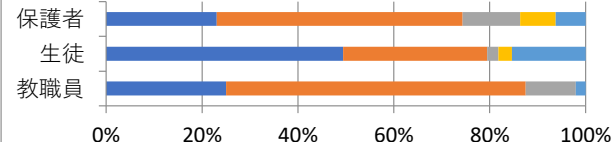
### 3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



### 4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

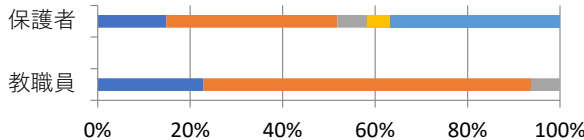


授業が「分かる」「楽しい」と回答した割合は生徒>教職員>保護者の順で、**授業を実際に受けている生徒からの肯定的評価は89%**と高い。**前年度比からも5ポイント↑**している。タブレットの活用については活用していると回答した割合が、全ての評価者の回答が前年比よりアップしており、学習道具の一つとしての認識が高まってきていると思われる。今後も活用を推進したい。

## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

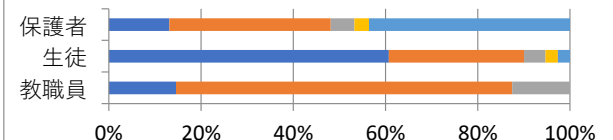
### 5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



### 6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



「交流及び共同学習」を通して、**相互理解につながっていると肯定的に回答した生徒は90%（前年比+13%）**おり、日頃からの関りや行事を通しての関わりがインクルーシブ教育の視点を高めていると考えられる。しかし、「わからない」と回答した保護者が44%、校内の支援体制についても「わからない」との回答が37%おられるため、日頃の生徒同士の関りの様子や学校での取組を周知したり、特別支援教育に関する情報発信を行ったりするなど、今後理解を深めたりできるようにする。併せて質問の「交流及び共同学習」の意味について補足が必要である。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>安全教育の実施について、肯定的に感じている生徒・教職員は9割いるが、保護者の2割以上は「わからない」と回答しているため、教育課程内に意識して位置づける必要がある。また、地域との連携においても約4割の保護者が「そう思わない」「思わない」「わからない」と回答している。コロナ禍もあり地域との行事等がなかったことも要因と思われる。「さわやか推進事業」を始め、日常的な連携・協力も含め、もっと周知していく必要がある。</p>	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

9 学校独自1	10 学校独自2
生徒たちは、楽しく学校生活を送ることができていると思いますか。	生徒たちは、「あ（挨拶）・そ（掃除）・ふ（服装）・じ（時間）・へ（返事）」を大切に行動できていると思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>「学校生活は楽しいか」に肯定的に「そう思う」と回答した生徒が90%（前年度より2%↑）いた。また、「あそびへ」を意識して行動していると肯定的に回答した生徒は88%であり、ほとんどの生徒が学校生活を楽しみ、充実したものにしながら、自分の行動を振り返ることができているなど、メリハリのある毎日を送っていることがわかる。今後も大切にしたい。</p>	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

11 学校独自3
生徒たちは、帯中三人行事（体育大会・白巫祭・強歩会）をとおして、充実感を味わい、助け合い、支え合うことの大切さを感じることができたと思いますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 50% 100%</p>
<p>生徒の93%（前年度比3%↑）、教職員の98%（前年度比12%↑）が肯定的に行事を通して達成感を味わい、成長したと実感している。少数ではあるが、「そうは思わない」「わからない」と回答している生徒や保護者がいることから、取組の意義を伝えながら、持続可能な取組をしながら、充実感や行事を通しての成長を感じられるようにしていく。</p>

## 来年度の具体的な取組について

- 生徒の自己肯定感を一層高めるために、これまで通り生徒の思いを十分にくみ取れるように生活ノートでのやり取りや、毎月のきずなアンケート等を大切にしていく。
- 保護者に学校の取組の様子を今以上に伝えられるよう、学校HPでの発信等を行っていく。
- 生徒を中心に据えた保護者との対話を行えるよう、持続可能な方法で来年度から利用可能になる保護者との連絡ツール等を利用してみる。

## 学校関係者評価

- コロナ禍の影響や校舎改築の工事の影響が全くないような感じで、生徒たちは授業に真剣に向かい頑張っているように思う。
- 授業の様子から、雰囲気も良く、教員と生徒との関係性がとても良い感じを受けた。困ったときに人に頼れる生徒を育てほしい。
- 子どものSOSを受け止める取組を継続していて良いと感じた。
- 学校評価の結果を見て、生徒たちがポジティブに物事を捉えられていると感じた。
- 春と秋の地域一斉清掃に中学生も参加してくれるとありがたい。
- 学校評価の結果を見て、保護者の「わからない」という回答に驚いた。親子の会話を大切にしてほしいと思う。また、会話をしてもネガティブな話題が多いことがあるが、頑張ってることなどもポジティブな会話をしてほしい。